

**「ラインホールド・ニーバーの宗教・社会・政治思想の研究」実施結果：アンケート集計結果の概要
（総合研究所News：2013年度 聖学院大学総合研究所
ラインホールド・ニーバー研究センター主催：
国際シンポジウム）**

著者	聖学院大学 総合研究所
雑誌名	聖学院大学総合研究所Newsletter
巻	Vol.23
号	No.1
ページ	38-40
発行年	2013-09
URL	http://id.nii.ac.jp/1477/00002693/

Title	「ラインホルド・ニーバーの宗教・社会・政治思想の研究」実施結果：アンケート集計結果の概要（総合研究所 News：2013 年度 聖学院大学総合研究所 ラインホルド・ニーバー研究センター主催：国際シンポジウム）
Author(s)	聖学院大学総合研究所
Citation	聖学院大学総合研究所 Newsletter, Vol.23-No.1, 2013.9：38-40
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/rep/modules/xoonips/detail.php?item_id=4610
Rights	



聖学院学術情報発信システム：SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

ことができないことを受け入れる冷静さを…と祈り続けたニーバー。このたび、円熟した深いニーバー解釈で知られるラヴィン教授と、ニーバーを含めた洞察をもって文化の問題と取り組んでいる気鋭のイム教授を迎えて、ニーバーの現代的意義を検討するシンポジウムを開くことになりました。内外の厳しい状況にある今日のわたしたちにとって、ニーバーの神学的・政治的知恵が、どのような意味をもつのか、一緒に考えてみたいと思います。

日時：2013年6月14日(金)

場所：青山学院大学 総研ビル（14号館）11F
第19会議室

【プログラム】

司会：高橋義文（聖学院大学総合研究所所長、聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科研究科長）

通訳：藤原淳賀（英⇒日 聖学院大学教授）

ブライアン・バード（日⇒英 聖学院大学総合研究所講師）

●開会

挨拶 阿久戸光晴 学校法人聖学院理事長、聖学院大学学長

●講演1

講師 ロビン・W・ラヴィン サザン・メソジスト大学全学教授
レスポンス

2013年度 聖学院大学総合研究所
ラインホルド・ニーバー研究センター主催
国際シンポジウム

「ラインホルド・ニーバーの宗教・ 社会・政治思想の研究」

実施結果—アンケート集計結果の概要

いま、なぜ、ニーバーか？

Why Niebhuur Now ?

20世紀アメリカを代表する神学者・政治哲学者ラインホルド・ニーバーが、いま、改めて注目されています。深遠な神学的洞察をもって、人間と歴史の根源的な問題に切り込んだニーバー。キリスト教現実主義を掲げて、冷戦時代のアメリカの在り方と将来の方向を示し続けてやまなかったニーバー。変えるべきことを変える勇気を変える



シンポジウム風景①

コメンテーター 千葉眞 国際基督教大学教授
 コメンテーター 西谷幸介 青山学院大学宗教主任、青山学院大学院教授
 質疑応答・討議

●講演2

講師 イム・ソンビン（任成彬） 韓国長老会神学
 大学校教授
 レスポンス

コメンテーター 東方敬信 青山学院大学前教授

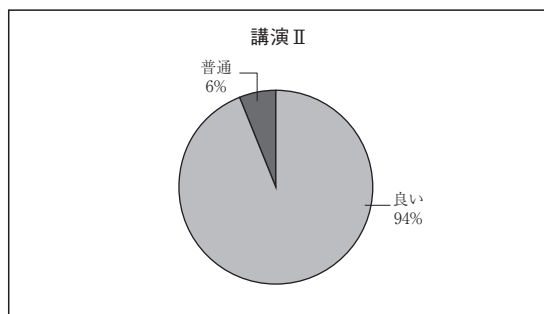
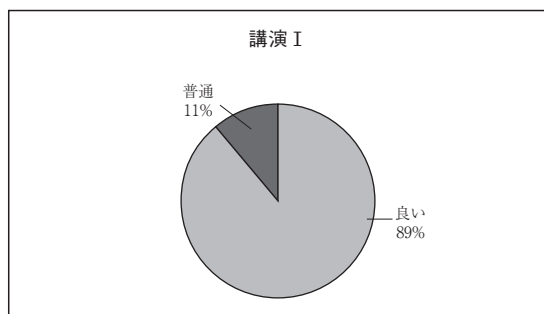
コメンテーター 藤原淳賀 聖学院大学教授

質疑応答・討議

閉会

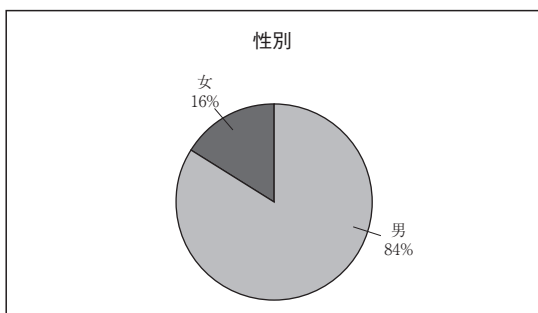
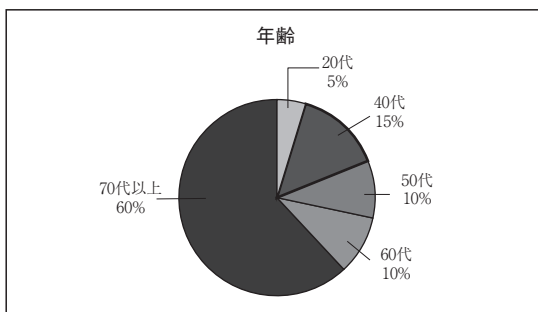
【結果の概要】

- ・参加者は80名。内、アンケート回答者は20名。
- ・講演について、どちらも「良い」という意見がおおよそ9割と高い評価だった。
- ・自由意見として、「有意義だった」「興味深い内容だった」「藤原先生の通訳が適切だった」など。



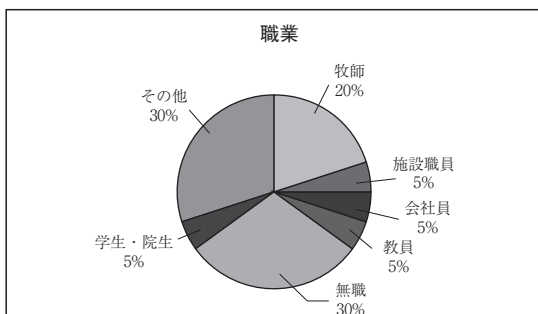
グラフ

(N/Aは除く)



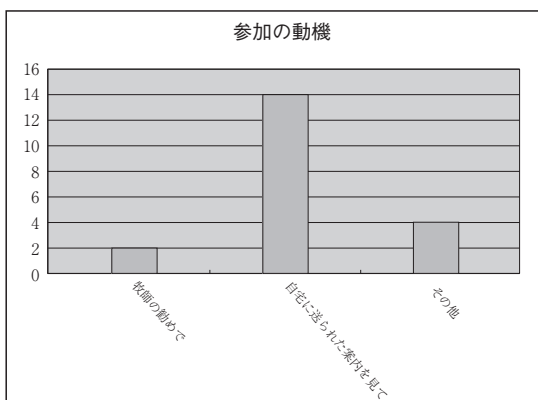
◎回答者の年齢は、70代以上が60%と最も多く、次いで40代15%となった。

性別は、男性84%、女性は16%となった。



◎職業は、「牧師」が最も多く20%だった。

「その他」の内容は、NPOなど。



◎参加の動機として、「自宅に送られた案内を見て」が最も多かった。

「その他」の内容としては、「先生の勧め」「知人の紹介」「授業」など。

自由意見

・幅広い議論で興味深い内容でニーバーの多面的な考えを学ぶことができました。ありがとうございました。

・ニーバーの世界から（名前を知っている程度の知識しかない）さらに広がった話し合い（質問）によりさらに深くなり、おもしろかった。歴史を振り返ったとき、なかったことにしたり、変えたりする政治はなさけないと思った。私にとってコメンテーターの方々に考えさせられることが多々ありました。ありがとうございました。

・ラインホルド・ニーバーについてはあまり知識はなかったのですが、本日の講演でいろんなことを詳しく教えられました。21世紀初期の今日においてニーバーのキリスト教現実主義がどのような意義と役割をもっているのか、より深く学びたいと思います。

・阿久戸学長の挨拶、質問は印象的であった。諸先生方のレスポンスもとても印象的であった。優れた企画と整った準備に感謝します。

・ニヒリズムとは異なり、人間の良心を信用しないところからくる不断の見直しやり返し政治的決定ということに感銘をうけました。普遍的なものは終末にしかおとずれない。今まだ来たらずという終末論に立つことの逆説的なおそれを思い知りました。平明でよかったです。ありがとうございました。

・ラヴィン先生のご講義の内容はすばらしく、また聞きやすい英語を丁寧に使ってくださり感謝でした。そして、藤原先生の通訳が適切で助かりました。ありがとうございます。イム・ソンビン先生のご講義も感謝します。コメンテーターの方々からも教えられました。藤原先生による試み（2つの流れをつなげようとしていること）に共感を持ちました。これからもさらに教えて頂きたいと思います。

・有意義だった。神よ、変えられないものを受け入れる…という一文が若いときから支えだった。今回のシンポで、イム教授の文中の教会が教会であるということが大切と思う。

・原稿を読み上げているよりも直接論者のスピーチを聞くことが出来れば、理解しやすかったと思われます。全体的によく準備された会議でした。関係者の方々の労に深く感謝します。

・大変整えられた講師とレスポンスの方々の内容も入っている資料に心から感謝します。今日の日本の中で、人口1%にの満たない教会、クリスチャンのなすべき使命と責任のことを深く覚えさせられました。世界のクリスチャンとの交わりの中で、日本の置かれた現実の中で、1粒の種としてよき花を咲かせられる働きができればと思う。

・韓国のイム先生の講演、大満足です。



シンポジウム風景②